

熱硬化性樹脂のポジティブリスト化について

(第4回検討会(H28/12/13開催)の持ち帰り事項に対する
会員企業からのご回答)

*** 持ち帰り事項 ***

- ①顧客や最終顧客に及ぼすポジティブリストの有効性について
- ②新しいポジティブリストの反映性について

(1) 顧客や最終顧客に及ぼすポジティブリストの有効性について

弊会会員企業は、顧客である成形メーカー、及び最終顧客である食器メーカーいずれからも、現在運用しているポジティブリストの有効性に関する情報は得られていない。

(2) 新しいポジティブリストの反映性について

現時点で、会員企業の事業に占めるポジティブリストの対象製品は

- ①売上規模は極めて少なく、製品、使用している各種原材料及び製品の製造方法は成熟している。
- ②顧客(成形メーカー)からは製品の特性向上や改良等の要求は少なく今後も需要の拡大は期待できない。
- ③将来的に新規物質の採用の可能性は低い。

上記より、添加量や溶出量の制限等に関する詳細な議論は出来ておらず従来より使用している材料のみをポジティブリストに掲載するに留めているのが実態である。

従って、他の業界で運営されているポジティブリストと同様な試験評価及び判定についても、今後も見据えたビジネスに対する費用対効果を考慮すると前向きな検討を行う事は極めて困難と判断している。

また、新規物質に関する取扱いは他業界での採用状況を考慮した上で使用可否を判断し、状況に応じて随時追記もしくは改訂しながら対応したいと考えている。